



第 150 期 中間報告書

(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

株式会社 **ニコン**



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社グループ第150期上半期(平成25年4月1日～平成25年9月30日)の
事業の概況並びに連結決算についてご報告申し上げます。

取締役社長 兼 社長執行役員

木村 真琴

当上半期の概況

当第2四半期連結累計期間の経済状況は、わが国経済においては一連の各種経済政策を背景とした緩やかな景気回復の兆しがみられましたが、世界経済においては米国は改善傾向にはあるものの、個人消費は緩やかな回復に留まり、また欧州の景気低迷や新興国経済の伸び悩みなどにより、全体としては低調となりました。

事業別では、精機事業においては、半導体関連市況は低調に推移し、液晶関連市況は堅調に推移しました。映像事業においては、コンパクトデジタルカメラ市場は引き続き縮小し、レンズ交換式デジタルカメラ市場は海外市場が低調に推移しました。インストルメンツ事業においては、バイオサイエンス関連は国内及び米国の公共予算執行が進みましたが、産業機器関連は半導体・電子部品関連において設備投資抑制の影響を受けました。

こうした厳しい事業環境のなか、当社グループは、本年

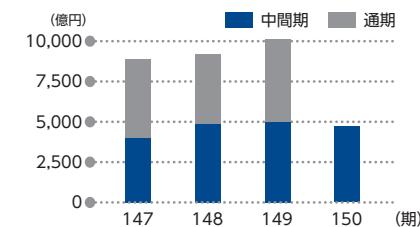
8月に設置した「経営対策委員会」の下、グループ一丸となって徹底的なコストダウンを推進することにより収益性の向上を図るとともに、サプライチェーンマネジメントの強化、特長のある新製品の市場投入などによる既存事業の強化に努めました。

また、新事業の対象である「健康・医療分野」の中で重点領域として選定した「分析・診断」分野の事業化に向けた研究開発や、グローバル人材の育成などにも取り組みました。

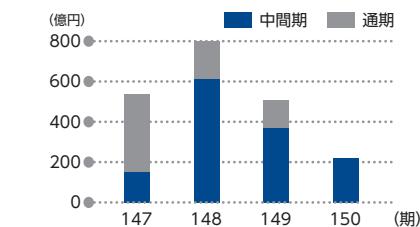
この結果、第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は4,704億84百万円、前年同期比267億59百万円(5.4%)の減少、営業利益は219億1百万円、前年同期比152億2百万円(41.0%)の減少、経常利益は200億27百万円、前年同期比194億96百万円(49.3%)の減少、四半期純利益は136億8百万円、前年同期比184億13百万円(57.5%)の減少となりました。

当社の中間配当金につきましては、業績等を勘案し、1株につき10円、前年同期比9円の減配とさせていただきます。

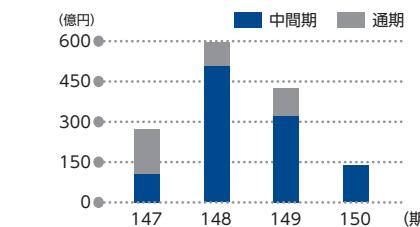
売上高 **4,704億84**百万円
前年同期比**5.4%**減



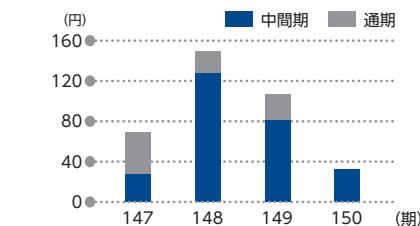
営業利益 **219億1**百万円
前年同期比**41.0%**減



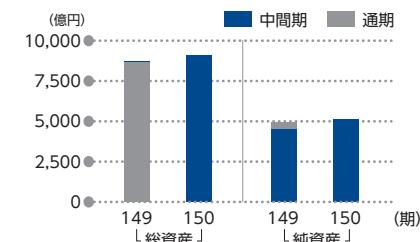
当期純利益 **136億8**百万円
前年同期比**57.5%**減



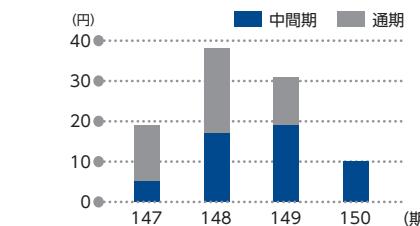
1株当たり当期純利益 **34円31**銭



総資産 **9,061億73**百万円
純資産 **5,124億43**百万円



1株当たり配当金 **10円00**銭



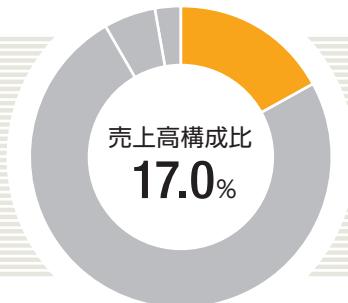
通期の見通し

今後につきましては、精機事業では、半導体関連市況は引き続き不透明感が残るものの、液晶関連市況は底堅く推移することが見込まれます。映像事業では、レンズ交換式デジタルカメラ市場は、今期においては市況の弱含みが見込まれ、コンパクトデジタルカメラは引き続き市場が縮小することが予想されます。インストルメンツ事業では、バイオサイ

エンス関連の市場は公共予算執行により堅調に推移することが見込まれますが、産業機器関連は引き続き厳しい状況が予想されます。当社としましては、市況の悪化に対し、収益改善に向け一層のコストダウンや特長ある新製品の投入に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月



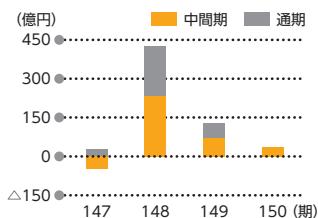
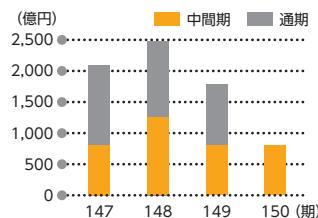
精機事業

パソコン、携帯電話をはじめとする各種情報機器へ搭載される半導体の生産に欠かせない半導体露光装置事業と、薄型テレビやスマートフォンなどに使用される液晶パネルや有機ELパネルの生産を支える液晶露光装置事業から成り、光利用技術及び精密技術を核とした最先端の商品・サービスを提供しています。



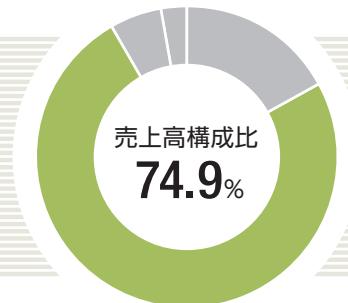
売上高 **798億55**百万円
前年同期比 **0.7%**減

営業利益 **37億32**百万円
前年同期比 **48.2%**減



主要製品

- 半導体露光装置
- 液晶露光装置



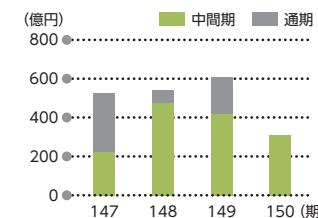
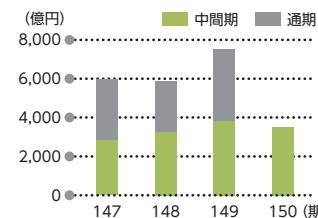
映像事業

プロ仕様から初心者向けまでラインナップを取り揃えたレンズ交換式デジタルカメラや交換レンズ、高性能で使いやすいコンパクトデジタルカメラなどの映像関連商品や、その周辺領域の商品・サービスを提供しています。



売上高 **3,525億80**百万円
前年同期比 **7.5%**減

営業利益 **309億19**百万円
前年同期比 **26.0%**減



主要製品

- レンズ交換式デジタルカメラ
- 交換レンズ
- コンパクトデジタルカメラ
- フィルムカメラ
- 望遠鏡

当上半期の事業関連市況

半導体関連分野はメーカー各社の設備投資が低調に推移し、液晶関連分野はスマートフォン・タブレット型端末などの需要を背景に堅調に推移しました。

半導体露光装置分野

最新型のArF液浸スキャナー「NSR-S622D」などを中心に拡販に努めました。

液晶露光装置分野

スマートフォン・タブレット型端末などの中小型・高精細液晶ディスプレイの生産に適した「FX-66S」「FX-67S」などを中心に販売に注力し、市場での高いシェアを確保しました。

当上半期の取り組み

事業全体を通じて工期短縮やコスト削減など、収益構造の改善にも取り組みました。

当上半期の業績

営業利益は計画比では増益となりましたが、市況の影響を受け、当事業の売上高は798億55百万円、前年同期比0.7%の減少となり、営業利益は37億32百万円、前年同期比48.2%の減少となりました。

当上半期の事業関連市況

コンパクトデジタルカメラ市場は引き続き縮小し、レンズ交換式デジタルカメラ市場は海外市場が低調に推移しました。

レンズ交換式デジタルカメラ

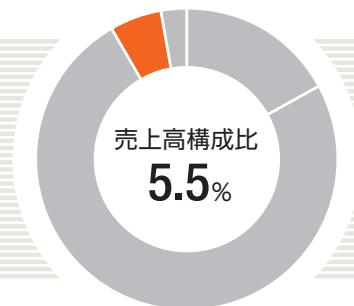
ミドルクラス機のデジタル一眼レフカメラ「D7100」の販売が好調に推移しました。

コンパクトデジタルカメラ

光学42倍の超高倍率ズームモデル「COOLPIX P520」などの拡販に努めるとともに、快適な自分撮りが楽しめるパリアングル液晶モニター搭載の「COOLPIX S6600」など特長ある新製品を投入しました。

当上半期の業績

レンズ交換式デジタルカメラ及びコンパクトデジタルカメラともに市場シェアは維持しましたが、市況の影響を受け、当事業の売上高は3,525億80百万円、前年同期比7.5%の減少となり、営業利益は309億19百万円、前年同期比26.0%の減少となりました。



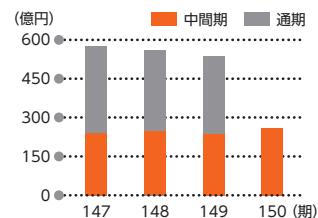
インストルメンツ事業

バイオテクノロジー研究を支える生物顕微鏡などを扱うバイオサイエンス事業と、精密機械部品や半導体関連などで使用される工業用顕微鏡、測定機、半導体検査装置を扱う産業機器事業から成り、最新のデジタル技術と伝統の光学技術を融合した商品・サービスを提供しています。

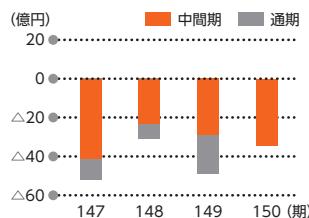


超解像顕微鏡システム[N-SIM]
※ 画像は研究用倒立顕微鏡[TI-E]に装着時

売上高 260億65百万円
前年同期比9.8%増



営業利益 △34億37百万円
前年同期は△29億77百万円



主要製品

- 生物顕微鏡
- 工業用顕微鏡
- 測定機
- 半導体検査装置

当上半期の事業関連市況

バイオサイエンス関連市況では国内及び米国における公共予算執行が進み、堅調に推移しましたが、産業機器分野では半導体・電子部品関連においてメーカー各社による設備投資抑制の影響を受けました。

バイオサイエンス事業

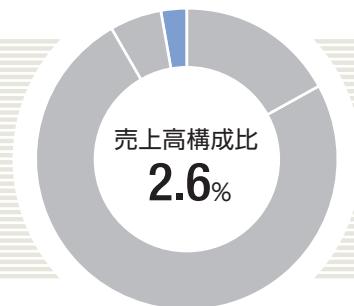
研究用倒立顕微鏡や最先端の超解像顕微鏡システムなどを中心に販売を伸ばしました。

産業機器事業

非接触測定機などを中心に拡販に努めましたが、半導体・電子部品関連の販売は減少しました。

当上半期の業績

売上高は260億65百万円、前年同期比9.8%の増加、営業損失は34億37百万円(前年同期は29億77百万円の営業損失)となりました。



その他の事業

宇宙関連製品をはじめとする特注機器を扱うカスタムプロダクツ事業、最先端の液晶ディスプレイ用パネルを製造するために欠かせない液晶フォトマスク基板などを扱うガラス事業などがあります。

当上半期の取り組み

カスタムプロダクツ事業では、宇宙関連製品が大きく売り上げを伸ばし、ガラス事業では、液晶フォトマスク基板の拡販に努めました。

当上半期の業績

売上高は119億82百万円、前年同期比0.2%の減少、営業利益は19億53百万円、前年同期比23.4%の増加となりました。

売上高 119億82百万円
前年同期比0.2%減

営業利益 19億53百万円
前年同期比23.4%増

主要製品

- 特注機器
- 液晶フォトマスク基板

ホームページのご案内

HP <http://www.nikon.co.jp>



当社ホームページでは、企業情報や財務情報、事業活動や製品情報などをはじめとする様々な情報を掲載しております。当社をよりご理解いただくためにも是非ご覧ください。

連結貸借対照表・連結損益計算書

Consolidated Balance Sheets & Consolidated Statements of Income

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度末 平成25年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 平成25年9月30日現在	増減
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	110,281	148,913	38,631
受取手形及び売掛金	134,225	113,295	△20,930
商品及び製品	116,504	124,740	8,235
仕掛品	119,760	126,208	6,448
原材料及び貯蔵品	33,147	30,343	△2,803
その他	65,523	67,849	2,325
貸倒引当金	△3,795	△4,018	△223
流動資産合計	575,647	607,331	31,683
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物(純額)	45,774	49,677	3,903
機械装置及び運搬具(純額)	57,551	61,586	4,035
土地	15,025	15,125	99
建設仮勘定	15,935	11,410	△4,525
その他(純額)	27,317	26,979	△337
有形固定資産合計	161,605	164,780	3,174
無形固定資産			
のれん	4,443	4,101	△341
その他	27,826	29,301	1,474
無形固定資産合計	32,270	33,402	1,132
投資その他の資産			
投資有価証券	66,859	73,521	6,662
その他	28,517	27,572	△944
貸倒引当金	△231	△435	△203
投資その他の資産合計	95,144	100,658	5,514
固定資産合計	289,019	298,841	9,821
資産合計	864,667	906,173	41,505

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度末 平成25年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 平成25年9月30日現在	増減
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	124,676	146,279	21,603
短期借入金	18,739	19,619	879
1年内償還予定の社債	—	10,000	10,000
未払法人税等	1,395	6,309	4,913
製品保証引当金	8,096	6,772	△1,324
その他	146,277	140,450	△5,826
流動負債合計	299,186	329,432	30,245
固定負債			
社債	40,000	30,000	△10,000
長期借入金	22,600	22,600	—
退職給付引当金	3,631	3,317	△314
資産除去債務	2,512	2,535	23
その他	6,519	5,845	△674
固定負債合計	75,263	64,298	△10,965
負債合計	374,450	393,730	19,280
純資産の部			
株主資本			
資本金	65,475	65,475	—
資本剰余金	80,711	80,711	—
利益剰余金	345,698	355,659	9,961
自己株式	△12,804	△12,698	106
株主資本合計	479,081	489,148	10,067
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	9,482	14,446	4,964
繰延ヘッジ損益	△216	△79	137
為替換算調整勘定	2,135	9,066	6,930
在外子会社の退職給付債務等調整額	△1,060	△1,097	△38
その他の包括利益累計額合計	10,340	22,335	11,995
新株予約権	795	880	84
少数株主持分	—	78	78
純資産合計	490,217	512,443	22,225
負債純資産合計	864,667	906,173	41,505

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日		増減
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	
売上高	497,243	100.0	470,484	100.0	△26,759
売上原価	313,126	63.0	301,626	64.1	△11,500
売上総利益	184,116	37.0	168,857	35.9	△15,258
販売費及び一般管理費	147,013	29.5	146,956	31.2	△56
営業利益	37,103	7.5	21,901	4.7	△15,202
営業外収益					
受取利息	382		395		13
受取配当金	955		687		△268
生命保険配当金	479		454		△25
為替差益	18		—		△18
持分法による投資利益	572		642		69
その他	1,092		2,280		1,188
営業外収益合計	3,500	0.6	4,460	0.9	959
営業外費用					
支払利息	513		887		373
為替差損	—		3,009		3,009
その他	566		2,437		1,870
営業外費用合計	1,080	0.2	6,334	1.3	5,254
経常利益	39,524	7.9	20,027	4.3	△19,496
特別利益					
固定資産売却益	116		34		△81
投資有価証券売却益	5,132		—		△5,132
受取保険金	1,539		—		△1,539
特別利益合計	6,788	1.4	34	0.0	△6,753
特別損失					
固定資産売却損	10		20		9
減損損失	409		2		△406
投資有価証券売却損	0		11		11
投資有価証券評価損	233		—		△233
特別損失合計	654	0.1	34	0.0	△619
税金等調整前四半期純利益	45,657	9.2	20,027	4.3	△25,630
法人税、住民税及び事業税	13,635		6,414		△7,220
少数株主損益調整前四半期純利益	32,022	6.4	13,612	2.9	△18,409
少数株主利益	—		3	0.0	3
四半期純利益	32,022	6.4	13,608	2.9	△18,413

NEWS [D7100]が「EISAアワード」を受賞



デジタル一眼レフカメラ「D7100」が、欧州を代表する権威ある映像・写真関連の賞「EISAアワード」において、「ヨーロッパカメラ 2013-2014」を受賞しました。同機の高い描写性能や被写体捕捉性能などが評価されました。

NEWS 国連子供環境ポスター原画コンテストを開催

国連環境計画、地球環境平和財団、バイエル社、ニコンは世界の子供たちを対象とした絵画コンテストを共催しており、第22回は2013年が国連の定める「国際水協力年」であることにちなみ「生命の源「水」～それはどこからくるの?」をテーマに募集し、グローバル部門では世界110カ国から69万7,876点の応募があり、入賞作品60点を選出しました。



●グローバル部門1位入賞作品
タイのChiratchaya Kaeokamkongさん(12歳)

NEWS 「第15回FINA世界水泳選手権大会」に協賛



NEWS レンズ交換式カメラ用の「NIKKOR」レンズ、累計生産本数8,000万本を達成



NEWS [D5200]がレッドドット・デザイン賞を受賞



世界最大級のデザイン賞であるレッドドット・デザイン賞の「コミュニケーションデザイン2013」を「D5200」が受賞しました。同機のインフォ画面のうち「グラフィックデザイン」画面について、わかりやすく直感的に操作できる点などが評価されました。



NEWS アジア・オセアニア地域の財務統括子会社を設立

事業規模が拡大しているアジア・オセアニア地域での財務等の機能強化のため、財務統括会社「Nikon Asia Pacific Pte. Ltd.」を2013年6月、シンガポールに設立しました。

NEWS 惑星分光観測衛星「ひさき」にニコン製主鏡を搭載

2013年9月にイプシロンロケットにより打ち上げられた世界初の惑星観測専用宇宙望遠鏡「ひさき」に、当社の製造した望遠鏡の主鏡が搭載されました。



提供:JAXA

NEWS 株式会社ヘリオス(旧:株式会社日本網膜研究所)に出資

当社の光学及び画像技術を活用し、iPS細胞を利用した網膜疾患を適応症とする再生医療の実用化を支援するため、同社に5億円の出資を実施しました。これにより再生医療の発展に貢献するとともに、将来の同領域における当社の事業基盤の構築を促進します。

NEWS 5製品が2013年度グッドデザイン賞を受賞

- ・レンズ交換式デジタルカメラ「D610」、「D7100」、「Nikon AW1
- ・双眼鏡「MONARCH 7 8×42/10×42」
- ・研究用システム実体顕微鏡「SMZ25/SMZ18」

NEWS 2製品が「第7回キッズデザイン賞」を受賞



子ども使えるわかりやすい操作性や耐衝撃・防水性が特長のファミリー向けコンパクトデジタルカメラ「COOLPIX S31」と、子供も手軽に20倍の“マイクロウォッチング”を楽しめる「ファールミニ」などをはじめとする携帯型実体顕微鏡ネイチャースコープ「ファールシリーズ」がそれぞれ受賞しました。なお、「ファールシリーズ」は上位賞の「TEPIA特別賞」も受賞しました。



NEWS 「中学生フォトブックプロジェクト」岩手県で写真展を開催

ニコンは、「写真の力で復興支援」のスローガンの下、東日本大震災の被災地域の中学生が撮影した写真でフォトブックを制作するプロジェクトを2011年より実施しています。2013年8月には、生徒たちが復興への思いを込めた昨年度のフォトブックの写真展を、釜石市と盛岡市で開催しました。

新製品 有効画素数2,426万画素の優れた描写力と高い機動力を実現
[D610]

FXフォーマットと高性能画像処理エンジン「EXPEED3」により、低ノイズで豊かな階調表現と鮮明な画像を提供するとともに、高速連続撮影約6コマ/秒の機動力と多彩な機能をコンパクトなボディに凝縮しています。



新製品 クラス最高画質、有効画素数2,416万画素センサーとWi-Fi®・GPS内蔵のデジタル一眼レフカメラ
[D5300]

当社のデジタル一眼レフカメラとしては初めてWi-Fi®・GPSを内蔵した、有効画素数2,416万画素のモデルです。新素材を使ったモノコック構造により、小型軽量化と十分な強度を両立し、バリエーション液晶モニターも搭載しています。



新製品 バリエーション液晶モニター採用の多機能モデル
[COOLPIX S6600]

バリエーション液晶モニターにより多彩なアングルでの撮影が楽しめます。また「メイクアップ効果」や、液晶モニターを自分に向けた状態で、手のひらでカメラをリモートコントロールできる「ジェスチャー操作」を搭載し、カメラから離れた状態でも撮影やズーム操作ができ、快適な自分撮りが可能です。



新製品 デジタル一眼レフカメラ並みの撮影機能を装備
[COOLPIX P7800]

全ズーム域で明るい大口径レンズを搭載し、デジタル一眼レフカメラと同等の本格的な撮影機能や拡張性を備え、高精細電子ビューファインダーやバリエーション液晶モニターの搭載により柔軟な操作性を実現しています。



新製品 世界初*の防水・耐衝撃レンズ交換式デジタルカメラ
[Nikon 1 AW1]

「Nikon 1」シリーズの特長である高速性能・コンパクトサイズ・スタイリッシュなデザインに加え、防水性能・落下耐衝撃性能を備えたモデルです。同時発売の世界初*の防水・耐衝撃レンズと組み合わせ、山や海などのアウトドアシーンの撮影フィールドが広がります。

*2013年9月9日現在、発売済みのレンズ交換式デジタルカメラ及びその交換レンズにおいて。ニコン調べ。



新製品 明るい視界と広い視界をそれぞれ実現した防水型双眼鏡
[MONARCH 5 8×56/16×56/20×56]
[MONARCH 7 8×30/10×30]



MONARCH 7
8×30

クリアな視界の「MONARCH 5」シリーズの新製品3機種は、大口径レンズにより薄暗い状況でも十分な明るさでの観察を可能とし、高い光学性能かつ軽量・コンパクトボディの「MONARCH 7」シリーズの新製品2機種は広視界を実現しました。

新製品 手のひらサイズの超小型コンパクトデジタルカメラ
[COOLPIX S02]

手のひらサイズの超小型ボディに2.7型液晶モニターを搭載し、CMOSセンサーと高性能NIKKORレンズにより、高画質を実現し、接写や夜景など様々なシーンで本格的な撮影ができます。



新製品 寸法・形状を高精度、高速に測定するCNC画像測定システム
ネクシブ
[NEXIV VMZ-R3020]
[NEXIV VMZ-R6555]

精密機器・電子部品等の寸法や形状を自動測定する装置です。「NEXIV VMZ-R3020」は普及サンプルサイズに対応したモデルになっています。「NEXIV VMZ-R6555」は大型プリント基板の高速測定や多数の小型部品の同時測定を可能とし、検査コスト削減に貢献します。



NEXIV VMZ-R6555

会社概要

社名(英文社名) 株式会社ニコン(NIKON CORPORATION)
 本店所在地 〒100-8331 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル)
 TEL (03) 3214-5311
 設立年月日 大正6年(1917年)7月25日
 資本金 654億75百万円
 従業員数 単体 6,837名/連結 24,200名

役員及び執行役員

1. 取締役及び監査役 ※印は代表取締役を表しております。

取締役社長 木村 眞琴※
 取締役 伊藤 純一※ 牛田 一雄※ 正井 俊之 岡本 恭幸
 橋爪 規夫 大木 裕史 金澤 健一 松尾 憲治
 樋口 公啓
 常勤監査役 河合 芳道 長井 良幸
 監査役 可児 晋 上原 治也 畑口 紘

2. 執行役員

社長執行役員 木村 眞琴
 副社長執行役員 兼 CFO 伊藤 純一
 副社長執行役員 牛田 一雄
 常務執行役員 正井 俊之 岡本 恭幸 橋爪 規夫 川端 邦雄
 大木 裕史 本田 隆晴 金澤 健一 馬立 稔和
 小坂 庸雄 浜田 智秀
 執行役員 風見 一之 今 常嘉 御給 伸好 中島 正夫
 下田 治 岩岡 徹 吉川 健二 中村 温巳
 小田島 匠 長塚 淳

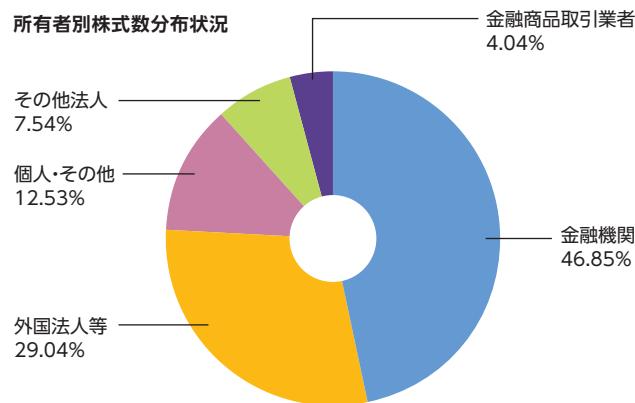
事業所

本社 〒100-8331 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル)
 大井製作所 〒140-8601 東京都品川区西大井1-6-3
 横浜製作所 〒244-8533 神奈川県横浜市栄区長尾台471
 相模原製作所 〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台1-10-1
 熊谷製作所 〒360-8559 埼玉県熊谷市御稜ケ原201-9
 水戸製作所 〒310-0843 茨城県水戸市元石川町276-6
 横須賀製作所 〒239-0832 神奈川県横須賀市神明町1-15

株式の状況

■発行済株式総数 400,878,921株 (比率は小数点以下第3位を四捨五入)
 ■株主数 48,859名

所有者別株式数分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	29,069	7.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	25,955	6.54
明治安田生命保険相互会社	20,051	5.06
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	18,276	4.61
東京海上日動火災保険株式会社	8,054	2.03
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,378	1.86
日本生命保険相互会社	7,301	1.84
株式会社常陽銀行	6,801	1.71
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,481	1.38
ザ バンク オブ ニューヨーク トリートイー ジャスデック アカウント	5,422	1.37

(注)持株比率は自己株式数(4,244,838株)を控除して計算しております。

本報告書は、注記のない限り、次により記載しております。
 1. 記載金額及び株式数は、表示単位未満の端数を切捨て
 2. 比率は、小数点以下第2位を四捨五入

株式に関するお手続きについて

■証券会社等の口座に記録された株式

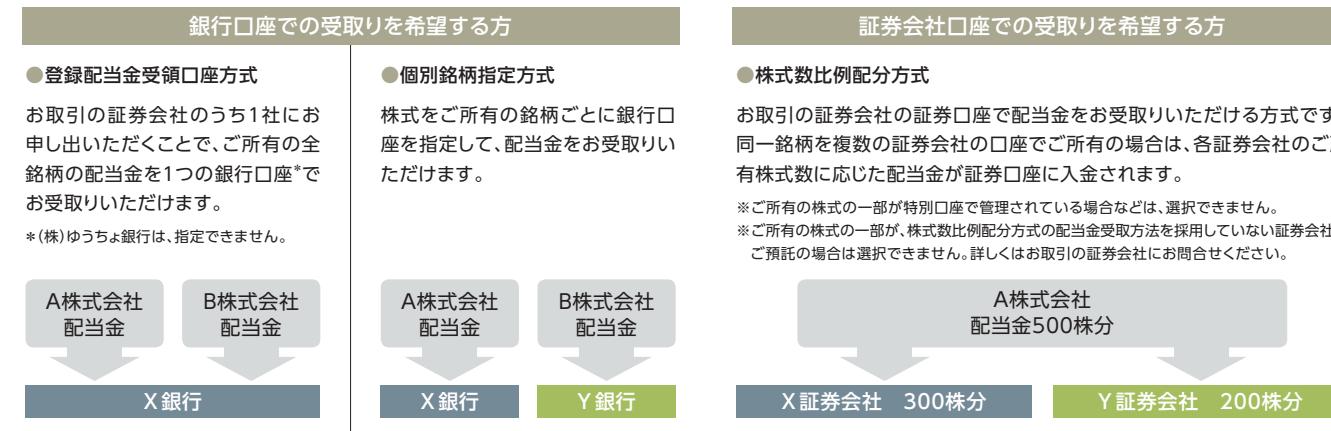
お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ 	裏表紙の「株主メモ」記載の三菱UFJ信託銀行 証券代行部へお問合せください。
<ul style="list-style-type: none"> ○上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

■特別口座に記録された株式*

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先						
<ul style="list-style-type: none"> ○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ 	裏表紙の「株主メモ」記載の三菱UFJ信託銀行 証券代行部へお問合せください。 なお、お手続き書類につきましては、以下の方法でもご請求いただけます。						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>手続き書類のご請求方法</th> <th>お問合せ先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音声自動応答電話によるご請求</td> <td>0120-244-479 (通話料無料)</td> </tr> <tr> <td>インターネットによるダウンロード</td> <td>http://www.tr.mufg.jp/daikou/</td> </tr> </tbody> </table>	手続き書類のご請求方法	お問合せ先	音声自動応答電話によるご請求	0120-244-479 (通話料無料)	インターネットによるダウンロード	http://www.tr.mufg.jp/daikou/	
手続き書類のご請求方法	お問合せ先						
音声自動応答電話によるご請求	0120-244-479 (通話料無料)						
インターネットによるダウンロード	http://www.tr.mufg.jp/daikou/						

*株券電子化制度の施行時までに証券保管振替機構(ほふり)に預託されず、その後特段のお手続きをされていない株式は、法令に基づき当社が開設している特別口座に記録されています。特別口座は証券市場での売買を行うことができないなどの制約があります。ご所有の株式が特別口座に記録されている株主様は、裏表紙の「株主メモ」記載の三菱UFJ信託銀行 証券代行部にお問合せのうえ、お早めに証券会社等の口座にお振替いただきますようお願い申し上げます。特に、株券電子化施行日に当時の単元未満株式(1株~999株)を所有されていた株主様、お手元に当社株券がある株主様は特別口座が開設されている可能性がありますのでご確認ください。
 ※2014年1月に導入されるNISA口座における株式の譲渡益と配当を非課税とするためには、特別口座に株式が記録されている株主様は、一般口座に株式を振替え、「株式数比例配分方式」を選択する必要があります。

配当金の口座受取り制度のご案内



お手続き・お問合せ先 配当金の口座受取りに関するご相談は、お取引の証券会社等(口座管理機関)にお申し出ください。

『源泉徴収税率』変更のご案内

平成26年1月1日以降に支払いを受ける上場株式等の配当等には、原則として**20%**(所得税15%、住民税5%)の源泉徴収税率が適用になります。なお、平成49年12月31日まで、復興特別所得税として**所得税額×2.1%**が追加課税されることになっております。

平成26年以降、上場株式等の配当等には、復興特別所得税を含め、**20.315%**の源泉徴収税率が適用になります。

	平成25年12月31日まで	平成26年 1月 1日から 平成49年12月31日まで	平成50年1月1日以降
所 得 税 (含む復興特別所得税)	7.147%	15.315%	15%
住 民 税	3%	5%	5%
合 計	10.147%	20.315%	20%

- 源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
- 本ご案内は、上場株式等の配当等に係る税金について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問合せください。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	公告の方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.nikon.co.jp/ir/bp/index.htm
期末配当金 受領株主確定日	3月31日		株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関
中間配当金 受領株主確定日	9月30日	同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111(通話料無料) 三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
定時株主総会	毎年6月		
単元株式の数	100株		



株式会社 **ニコン**

〒100-8331 東京都千代田区有楽町1-12-1 (新有楽町ビル)
<http://www.nikon.co.jp>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

